

編	集
後	記

謹賀新年、今年は寅年、剛気な態度で土木学会の発展、会員へのサービスに努めたいものです。

1月号から長年続いた古風な感じの表紙が一変しました。新しい年にふさわしいもの、デザイナー

の説明では「円弧と中央の白スペースの鋭い接触が、非常な精密さ、緊張感を、対称的な構成が、種々の要素の統合と安定など」を意味するそうです。合理性と美の結合である土木工学を象徴していると思います。

表紙が玄関なら、お茶の間ともなる内容に新しい項目を追加しました。話のひろば、ロータリー、各県建設工事案内というものです。

話のひろばはまず名誉員である大先輩の苦勞や将来への教示を自由な気持ちで話をしてもらい、学会の体質改善、その向上への一助となることを期待しています。これは順次発展して全会員の話のひろばに育つでしょう。

次にロータリーは本会誌にも沢山の広告がのって、競って新

製品を紹介している。しかし、このうち安心して応用してみようと思うと、どうも迷ってしまうのが一つの現実でしょう。このとき、その選定の指針を与えられたら、確かな情報が得られたらという希望に答えるものです。

各県建設工事案内は本号からはおみえは無理であるが、そのうち、全国の各県で行なわれている主要工事を観光旅行のついでに立寄ったとき見学して、土木技術者として一見百聞にしかずの諺を実行させうる価値ある記事を考えています。

いろいろ新生の動きを開始したのですが、本家本元の学会会館は永久的なものでない。この会館は公園に建てられていて不安定なもので、これを解決するのに思い切って各関係学会を一つに集めて学会センターにし、これを副都心に建てるのは大都市解決の一助ともなり、今年の課題ともなろう。

最後に今月の編集委員会は、鹿島建設、日本国土開発、西松建設の各社より多額の御寄付をいただき、久しぶりに新年宴会を兼ねて行なうことができたことを申し添えます。【渡部・記】

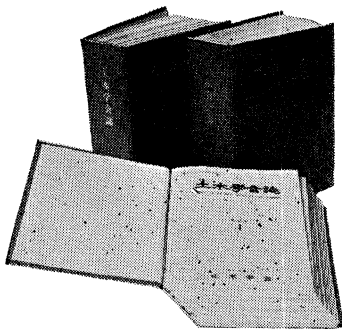
会員入退会について(昭和36年12月1日~31日まで)

1. 入会 92名(正32 学59 特1.C1)
2. 退会 15名(正13 特1.C1 特1.D1)
3. 死亡 1名(正)
4. 転格 2名 正→学

会員現在数(昭和36年12月31日現在)

名誉	正員	学生員	賛助員	特級	特1.A	特1.B	特1.C	特1.D	特2	計	(増)
39	13 298	1 324	30	12	14	27	133	223	16	15 116	(76)

正員 渡辺善郎君 宮城県土木部砂防課 昭和36年12月8日 死去 48歳



土木学会誌の保存は合本ファイルで

毎月の学会誌は貴重な研究資料です。学会誌の保存には3つの特長をもつ合本ファイルをご利用下さい。

①操作がきわめて簡単、②本の組替えが自由、③製本費が省ける
B5判学会誌12冊とじ用(薄グリーンクロス装、金文字入)

定価 150円 (〒70円)

お申込みは東京都新宿区四谷一丁目土木学会へ(振替東京16828番)入金次第発送いたします。

昭和37年1月10日印刷

昭和37年1月15日発行

土木学会誌 第47巻 第1号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行者 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料15円)

振替東京16828番

電話(351)5130・5138・5136番